

第60回関東中学校バレーボール大会における審判上の確認事項について

- 1、競技は、2025 年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則および 2025 年度（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部の6人制ルールを取り扱いを適用する。リベロプレーヤーは、試合ごとに2名まで登録できる。
- 2、服装は、（公財）日本中体連バレーボール競技部『全国大会参加チームのユニフォームの規定について』に準ずる。
 - （1）選手のユニフォームについて、ジャージ、ショートパンツ、ソックスは清潔で同じ色に統一していなければならない。
 - （2）リベロプレーヤーは、正規の選手と明らかに色の異なったもの（対象色）を着用する。判別が難しいと判断された場合は着替えるかリベロベストを着用しなければならない。
 - （3）監督・コーチは統一されたものを着用する。マネージャーは、各校の制服や体育着、選手と同じトレーニングウェアでも良い。それぞれ、左胸にワッペンをつける。
- 3、プロトコールについては、別表の通りとする。
- 4、監督およびチームキャプテンは、トスの前後にスコアシートにサインをする。また、リベロプレーヤーを登録するチームの監督は、そのプレーヤーの番号をスコアシートに記入する。リベロを再指名する場合を除き、サイン後に訂正することは認められない。
- 5、公式練習を含め、競技場内には正式にエントリーされたメンバー以外は立ち入りを認めない。ただし、公式練習前の合同練習のみ、サポートメンバー10名はID着用の上、「ボール拾い」「ボール渡し」に限り可とする。
- 6、ウォームアップエリアを設ける場合において、エリア内でのボールの使用は禁止する。
- 7、セット間はエンドライン側のフリーゾーンでボールを使用することができる。ただし、選手同士のパス程度の練習とし、チームスタッフがボールを出す行為は認めない。
- 8、スポーツ選手としてふさわしくない行為をしない。（威嚇や暴言、相手へのガッツポーズなど）
- 9、試合中のワイピングは、原則としてコート内の選手がタオルを携帯し行う。モップは必要に応じてタイムアウト中とセット間および審判が必要と判断した場合（範囲が広くタオルでふききれない、など）使用する。
- 10、監督は、自チームベンチ前アタックラインの延長線上からウォームアップエリアまでの範囲内で、立ち上がりあるいは歩きながら指示を出すことができる。ただし、LJ やセカンドレフェリーの判定の妨げになる位置取りを避けること。
- 11、タイムアウトは監督がハンドシグナルを明確に示して要求する。タイムアウトは30秒間であるが、選手は、30秒を待たずにコートに戻ってもよい。ただし、タイムアウトの時間が短くなることはない。
- 12、セット開始時のコート内でハドルを組めるのは、スターティングラインアップの6名とリベロプレーヤー最大1名のみである。
- 13、リベロプレーヤーの交代は、交代する2名がサイドライン上で同時に交代する。
- 14、個別に公式練習を行う際、コートを使用する権利のあるチームの練習を妨げてはならない。

【熱中症対策①】

毎セット 13 点で給水のためのタイムアウトをとる。セカンドレフェリーがホイッスルで合図し、両チームをウォームアップエリア付近もしくはベンチの外側へ導く。その際、ベンチスタッフは着席し、チームへ指示を出すことは認めない。ただし、生徒がマネージャーの場合は、マネージャーもウォームアップエリアで給水することを認める。（吹笛まで、選手はコート内に入ることはできない）

【熱中症対策②】

団扇の使用を認める。ただし、タイムアウト中やセット間のプレーが中断している場合にのみ使用する。それ以外の時間については、使用することや保持することは認めない。

別表

プロトコールについて【3セットマッチ】

<試合開始前>

	チーム	1st・2nd
試合前	両審判員のネット等のチェック時は、ネットを使用しないウォームアップをすることができる。	両審判員は、ネットの高さ・張り具合・アンテナの位置およびサイドバンドの位置をチェックする。また、公式ウォームアップ前には必ずユニフォームになるよう呼びかけるとともに、チームキャプテンはユニフォームでコイントスへ参加させる。（キャプテンマークの有無を確認する。）
11分前 ※第1試合 および決勝 12分前	監督は、スコアシートに記載されているメンバーを確認し、サインする。（監督については、スコアラの準備が整っていれば、合同練習中にサインをしても構わない。） チームキャプテンはコイントスのため記録席に行く。トスの前後、スコアシートにサインする。	1stは、記録席前で2ndを立ち会わせてコイントスをする。 2ndは両チームのチームキャプテン・監督を記録席に導き、スコアシートにサインさせる。（スコアラの準備が整っている場合に限り、監督のサインは合同練習中にさせても構わない。）
10分前	両チームが一緒か、または個別にサービス権を得たチームから公式ウォームアップを開始する。 ※個別に公式ウォームアップを行う際、コートを使用する権利のあるチームの練習を妨げてはならない。	1stは、公式ウォームアップの開始をホイッスルするとともに、ボール、スコアシート、プザー、ユニフォームなどのゲームに必要な道具のチェックをする。 ラインジャッジとの打ち合わせを行う。 2ndは、公式ウォームアップの計時を行うとともに、両チームの登録選手をチェックする。（登録されていない選手がいる等の問題は、監督へ伝えた上ですぐに対応する。）
7分前	個別にウォームアップを行っている場合は交代する。	2ndは各チームが個別にウォームアップを行っている場合はその交代をホイッスルで合図する。
4分前	公式ウォームアップを終了し、各チームのメンバーは全員速やかにベンチへ戻る。	1stは、公式ウォームアップの終了をホイッスルで合図する。
3分前	全プレーヤーは全員エンドラインに整列する。 <※アナウンスがある試合はここで実施する> 1stのホイッスルで両チームが あいさつ後、握手を交わす 。その後、各チームのメンバーはベンチに戻り、スターティングプレーヤーはユニフォーム姿で待機する。	1stは、両チームのプレーヤーをエンドライン上に導く。 1st・2ndは、審判台の前でネットを挟んで記録席から見て左側に1st・右側に2ndが位置する。
90秒前	1stのホイッスルで、スターティングプレーヤーはベンチから直接コートへ入る。 ハドルはスターティングプレーヤーとリベロ最大1名のみとする。	1stは、ホイッスルでプレーヤーをコート内に導く。 2nd及び記録員は、それぞれスターティングラインアップを照合する。 その後、2ndはボールを最初のサーバーに送る。 （2ndは必要に応じてリベロの交代を指導する。）
定刻	最初のサーバーは、1stのホイッスルによりサービスを行う。	1stはサービス許可のホイッスルをする。

<セット間>

	チーム	1st・2nd
セット終了時	セットが終了したら、コート上のプレーヤーはエンドライン上に整列する。 1stのホイッスルで、コートチェンジをする。 （スタッフ・ベンチメンバー及び荷物の移動は2ndの前方を通りコート内へ入らないよう注意する）	1stは、両チームのプレーヤーがエンドラインへ整列したら、コートチェンジをホイッスルで合図する。 2ndは、ボールに対し背中を向けて両ベンチに異常がないかを確認する。また、1分前になってもラインアップシートが提出されなければ、監督へ提出を促す。（スコアシートにラインアップが記載されたら、訂正することはできない。） 2ndとスコアラは、提出されたラインアップと登録選手を照合し、誤りがないかを確認する。
2分30秒後	プレーヤーは2ndのホイッスルにより、ベンチから直接コートに入る。	2ndは、スコアラの合図を受けて、両チームにコートに入るようホイッスルで合図する。 2ndとスコアラは、その後直ちにスターティングラインアップを確認する。

<試合終了後>

	チーム	1st・2nd
速やかに	試合が終了したら、全プレーヤーはエンドライン上に整列し、1stのホイッスルにより あいさつ後、握手を交わす 。 チームキャプテンはスコアシートにサインし、1st・2ndに感謝の挨拶をする。 チームは直ちにベンチから離れる。	1stは、全プレーヤーをエンドラインに整列させる。 1stは審判台を降り、2ndが定位置に付いたらホイッスルで両チームに挨拶をさせる。 記録席に戻り、両方のチームキャプテンにサインをさせ、その後スコアラのスコアシート記入を完了させる。